

研究タイトル：

簿記初学者の特性に関する分析



氏名： 山根 陽一 / YAMANE Yoichi E-mail: y-yamane@ube-k.ac.jp

職名： 准教授 学位： 修士(商学)

所属学会・協会： 日本会計研究学会, 日本簿記学会, 国際会計研究学会, 会計理論学会, 日本会計教育学会, 日本経営学会

キーワード： 簿記教育, 収益認識会計

 技術相談
 提供可能技術：

- ・簿記検定対策
- ・簿記教育・指導方法
- ・業界・企業の財務諸表分析

研究内容： 特定項目と学修達成度との関連性分析

1. 項目理解と学修達成度の関連性分析

2010年度から2016年度に担当した初学者を対象とした簿記の授業を通して収集した232名のデータをもとに、学修過程における項目理解と学修達成度の関連を分析し、特徴を明らかにすることを目的に実施した研究である。分析の結果、学修の初期段階において、複式簿記の基本構造を理解することが、学修達成度に強い影響を持っており、初学者における学修のポイントは簿記の一巡を理解することにあると結論付けた。

学修達成度
(期末試験, 日商簿記)



項目理解

(B/S・P/Lの名称, B/SとP/Lの関係, 仕訳, 転記, 決算振替仕訳, 現金過不足, 当座預金, 商品売買, 商品有高帳, 約束・為替手形, 裏書・割引手形, 貸付金・前受金等, 仮払金・商品券等, 固定資産, 有価証券, 引出金・税金, 試算表, 見越・繰延, 精算表, 財務諸表, 伝票)

※赤字: 有意な差あり

2. 学力指標と学修達成度の関連性分析

2013年度から2016年度に担当した初学者を対象とする簿記の授業を通して収集した大学1年生156名のデータをもとに、学力指標と学修達成度の関連を分析し、特定の学力が簿記の学修達成度に影響を与えているかを明らかにすることを目的に実施した研究である。記述統計では、学力指標の高い学生の学修達成度が高い傾向にあったが、分析の結果、学修達成度に影響を与える学力指標として、GPAが強く影響を及ぼしていることが確認され、授業に限定すれば、数学との関連が確認された。また、出身高校偏差値と学修達成度の間に関連は確認されなかった。

学修達成度
(授業理解度, 期末試験, 日商簿記)



学力指標

(国語, 数学, 英語, 高校偏差値, GPA, 出席率)

※赤字: 有意な差あり

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	